

黒斑山山行報告

【山行日】2019年7月13(土)曇り時々晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 3,300円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL大西、安西、菊池、柴崎、島田、清水、鈴木ヒ、並木、福島、福田久、渡辺

【コースタイム】岩舟支所 P6:00 = 車坂峠
P8:10/8:30 ~ 槍ヶ鞆 10:00/10:10 ~ トーミの頭
10:30 ~ 黒斑山 10:40/10:50 ~ 蛇骨岳 11:20/11:30
~ 仙人岳 11:45 ~ 蛇骨岳 12:00/12:35 ~ 黒斑岳
13:10 ~ トーミの頭 13:30 ~ 車坂峠 P14:45/15:00
= 岩舟支所 P17:20



夏山トレーニング山行の間にBランクの山行をと、黒斑山から仙人岳の山行を計画した岩舟支所Pを6時に出発し、北関東道から関越道、上信越道を進み小諸ICで降り車坂峠に着く。



車坂峠の駐車場は満車に近く、ビジターセンター前の駐車スペースに何とか2台止めることが出来た。ビジターセンターはすでに開館しており、とても綺麗なトイレを利用することが出来た。準備を整えて、ストレッチを済ませて出発する。表コース登山口で山行計画書をポストに入れ、表コースを登って行く。雲が多く展望は得られないが、小さなカラマツと岩の間を歩き庭園のような雰囲気とても気持ち良く歩ける。道はその庭園の中を緩やかに登り、車坂山の

ピークに立つ。山々の展望は得られないが、眼下に小諸の街並みが見え「ウワ～綺麗」と歓声が上がる。

ピークから一旦下ってガレ場を登ると、ツガやシラビソの原生林の中を登るようになる。

やがてははっきりとした尾根道を登るようになり、左側にこれから登る黒斑山の西面が見えるようになる。登山道が土止めの階段状の歩きにくい道になり、しばらく辛抱して登ると赤いドームの避難小屋に出る。ここから少し下ると展望が良い槍ヶ鞆に出るが、今日はガスが掛かって浅間山の展望は得られなかった。小休止しトマトやブルーベリーをいただき、記念写真を撮ったら出発する。槍ヶ鞆から左に巻くように少し下り、鞍部からは火口壁の稜線を登るようになる。



切れ落ちた右側の崖に気をつけてガレた稜線を登り、中コースへの分岐を過ぎて岩がゴロゴロとしたところを登るとトーミの頭に出る。ここに立つと浅間山や、黒斑山から蛇骨岳への稜線が一望できるが、あいにくガスの中で見ることが出来なかった。



トーミの頭からは稜線上の道をひと登りすれば、標高2404mの黒斑山山頂に着く。浅間山の外輪山の中で最高峰の黒斑山は、浅間山を正面から眺められる絶好の展望台だが、今日はその雄姿は見られない。記念写真を撮ったらその先の蛇骨岳へ向かう。シラビソの樹林帯を緩やかに下り、時折樹林の間から眼下に湯の平が見えるようになる。さらに進むと樹林帯を抜けて視界が開け、崖沿いの展望の良い道を進み湯

の平や浅間山の裾野が見え隠れする。さらに狭い外輪山の稜線の道を進むと、茶色い岩の道になり標識が立つ蛇骨岳山頂に着く。ここからの景色も素晴らしく、浅間山はガスで見えないが北に目を向けると嬬恋村のキャベツ畑が眼下に広がっている。小休止しキーウイフルーツやピーナッツを食べエネルギーを補給し、ザックをデポしてこの先の仙人岳に向かう。蛇骨岳から仙人岳までの稜線はこのコース一番の展望が得られ、岩場の稜線歩きはアルペンムードを楽しめる雲上のスカイラインだ。皆さん「ウワ～素敵、浅間山が見えなくても素晴らしいね！」とご機嫌で歩き仙人岳に着く。仙人岳に着くと薄日が差し、浅間山がうっすらと姿を見せてくれた。浅間山をバックに記念写真を撮ったら蛇骨岳まで戻り、ランチタイムとする。ほうれん草とエノキタケの味噌汁を作り、出汁巻き卵やピーミンソなどおにぎりを美味しくいただく。お腹がいっぱいになったら、後片づけをして下山する。下山は往路を戻り、トーミの頭の先で右に中コースを下って行く。樹林帯の登山道は雨で深くえぐれて歩きにくく、転倒しないように慎重に下る。傾斜が緩く歩き易い道になり、カラマツ林の道を下ると道路に出て駐車場に着く。靴を履き替えたらビジターセンターでトイレを済ませ帰路につく。途中、道の駅「雷電くるみの里」に寄り、ソフトクリームやお土産を買い岩舟支所に予定より40分遅れて帰着した。

